

歯科患者を診るためのイントロダクション (IDP : Introduction to the Dental Patient)

(H28 年 9 月 5 日～10 月 3 日)

コース責任者 (主) 工藤義之、小豆島正典、野田守

担当講座 (分野) 担当 Director

- : 歯学教育部門 (ODE) 長 佐藤和朗教授
- : 総括科目責任者全コース主責任者 鬼原英道准教授
- : 歯科保存学講座 (う蝕治療学分野) 工藤義之准教授
- : 口腔顎顔面再建学講座 (歯科放射線学分野) 小豆島正典教授
- : 口腔医学講座 (関連医学分野) 千葉俊美教授
- : 口腔機能保存学講座 (歯周療法学分野) 八重柏隆教授、村井治助教
- : 補綴・インプラント学講座 金村清孝准教授
- : 口腔顎顔面再建学講座 (口腔外科学分野) 阿部亮輔助教
- : 口腔顎顔面再建学講座 (歯科麻酔学分野) 佐藤雅仁准教授
- : 口腔医学講座 (予防歯科学分野) 阿部晶子准教授
- : 口腔保健育成学講座 (歯科矯正学分野) 間山寿代講師
- : 解剖学講座 (機能形態学分野) 藤村朗教授
- : 解剖学講座 発生物・再生医学分野 藤原 尚樹准教授
- : 微生物学講座 (分子微生物学分野) 下山佑講師
- : 生理学講座 (病態生理学分野) 成田欣弥講師
- : 医療工学講座 服部雅之教授

第 3 学年 後期

講義 実習・他
49.5 時間 52.5 時間

一般目標 (講義・実習)

医療面接講義とロールプレー方式での医療面接実習を通じて、医療面接を行う際に必要な知識と基本的な医療コミュニケーション能力を身につけることができる。さらに、医療面接に必要なインフォームドコンセントについての説明ができるようになる。

外来での印象採得相互実習、シミュレーターや相互エックス線撮影実習を通じて、エックス線検査を行なうことができるようになるとともに、医療人に必要な身だしなみ、患者への配慮、清潔域不潔域を遵守する態度を身につけることができる。

講義を通じて各歯科専門領域の概略を説明できるようになるとともに、有病者歯科患者や周術期患者に必要な歯科医療について説明できるようになる。

グループ学習を通じて、与えられた課題について問題点を抽出し、解決のために必要な事柄を発想、解決して分かりやすくプレゼンテーションを行うことができるようになる。

事前学修時間 (30 分)

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修 (予習・復習) を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義・実習日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月5日(月) 1限	ODE 佐藤和朗教授 (歯学教育部門長) 1コース主責任者 工藤義之准教授	1～7コースと1コース の概要 1～7コースと1コース の内容と合格基準につ いて説明できるよう になる。	1. 1～7 コースの目標をについて説明できる。 2. 1～7 コースの概要を説明できる。 3. 1～7 コースの評価法について説明できる。 4. IDP の目標について説明できる。 5. IDP の内容について説明できる。 6. IDP の実習について説明できる。 7. IDP の評価法について説明できる。
9月5日(月) 2限	工藤義之准教授 浅野明子講師 長谷部智之助教 (う蝕治療学) 阿部晶子准教授 (予防歯科学)	診療姿勢 実習室 (矢巾) シミュレーターで正し い診療姿勢をとること ができるようになる。	1. 適切な診療姿勢をとることができる。 2. ドクターツールの高さを調節できる。 3. ホームポジションをとることができる。 4. ハンドピースの3種の持ち方で把持できる。 5. 正しくレストを置くことができる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月5日(月) 3、4限	佐藤和朗教授 金野吉晃講師 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 山田裕之助教 菊池宗法助教 桑島幸紀助教 山田順子助教 (歯科矯正学) 佐藤 仁助教 (歯科放射線学) 工藤義之准教授他 (う蝕治療学) 下山 佑講師 (分子微生物学) グループ学習 ファシリテータ 工藤義之准教授 (う蝕治療学) 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 原総一郎助教 畠山 航助教 齋藤由美子助教 (補綴・インプラント学) 菊池宗法助教 (歯科矯正学)	実習説明 (矢巾) 印象&模型作製 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようになる。 放射線 シミュレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。 グループ学習 与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明できる。 3. 口内法撮影の手順を列挙できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。
9月6日(火) 1限	藤原尚樹准教授 (発生生物・再生医学)	歯周組織の正常構造について 口腔内診査、研究用模型、エックス線検査に関係する組織構造を説明できるようになる。	1. 歯周組織の構造を説明できる。 2. セメント質・歯根膜・歯槽骨の関係を説明できる。 3. セメントエナメル境、接合上皮の構造について説明できる。 4. 歯槽骨の構造とエックス線写真との関連を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月6日(火) 2限	安藤禎紀講師 (機能形態学)	研究用模型印象採得に必要な解剖学 粘膜表面構造と内部の構造の関連を説明できるようになる。	1. 口腔粘膜の表面構造を説明できる。 2. 粘膜下の骨構造を説明できる。 3. 粘膜下組織の構造を説明できる。 4. 粘膜下の筋肉の機能を説明できる。
9月6日(火) 3限	齋藤設雄講師 (医療工学)	口腔状態の記録に用いる歯科材料 印象と模型の製作に用いる歯科材料の種類と、精密な口腔内模型を作製するための取り扱い上の留意点を説明できるようになる。	1. 口腔内模型作製の目的を説明できる。 2. 口腔内模型作製の工程と用いる材料(印象材、石膏)を説明できる。 3. 模型の用途に応じた印象材、石膏の選択を説明できる。 4. 印象採得の技術に関わる諸因子(トレーの種類と取り扱い、印象材の物性)を説明できる。 5. 石膏の取り扱いに関する技術上の留意事項(練和、注入、消毒、保管)を説明できる。
9月6日(火) 4限	下山 佑講師 (分子微生物学)	インфекションコントロール 歯科治療に必要な滅菌消毒法および感染予防について説明できるようになる。	1. 院内感染について説明できる。 2. 主要な滅菌消毒法の種類と概要を説明できる。 3. 清潔域、不潔域について説明できる。 4. 主要な微生物の感染経路とその遮断法を説明できる。
9月7日(水) 1限	原総一郎助教 (補綴・インプラント学)	歯の修復・補綴が必要な患者についての導入 歯の欠損と欠損補綴の基本について説明できるようになる。	1. 歯の欠損に伴う顎口腔系の変化を説明できる。 2. 歯の欠損と補綴治療の目的、臨床的意義を説明できる。
9月7日(水) 2限	滝沢尚希助教 (歯周療法学)	歯周病患者へのイントロ(リスクファクター、全身への影響) 歯周病のリスクファクターと全身への影響について説明できるようになる。	1. 歯周疾患の発炎症因子を説明できる。 2. 歯周疾患の外傷性因子を説明できる。 3. 歯周疾患の全身的因子を説明できる。 4. 歯周病のリスクファクターについて説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月7日(水) 3限	山谷元気助教 (口腔外科学)	口腔外科序論 口腔外科診断学 診察法 口腔外科の概要について説明できるようになる。 口腔外科の診察において必要な診察法を説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔外科学の体系を概説できる。 2. 歯科医療における口腔外科学の意義を述べることができる。 3. 診察法の種類を列挙できる。 4. 基本的な診察法の概略を説明できる。 5. 診察に必要な器材を列挙できる。 6. 視診の項目を列挙できる。 7. 触診の項目を列挙できる。
9月7日(水) 4限	杉山芳樹教授 野宮孝之助教 (口腔外科学)	歯科医療における安全性への配慮と危機管理 安全性の確保について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理に関する用語について説明できる。 2. 歯科医療における事故の特異性を説明できる。 3. 医療業務における多職種の間接的関与について説明できる。 4. 医療現場における報告・相談・診療録記載の重要性について説明できる。 5. 医療安全に関する情報の共有・分析の重要性を説明できる。 6. 医療機関における医療安全管理体制について概説できる。 7. 院内感染の原因、回避の方法を概説できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
<p>9月8日(木)</p> <p>1、2限</p>	<p>佐藤和朗教授 金野吉晃講師 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 山田裕之助教 菊池宗法助教 桑島幸紀助教 山田順子助教 (歯科矯正学)</p> <p>佐藤 仁助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授他 (う蝕治療学) 下山 佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテータ 工藤義之准教授 (う蝕治療学) 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 原総一郎助教 畠山 航助教 齋藤由美子助教 (補綴・インプラント学) 菊池宗法助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習 (内丸)</p> <p>G1: 印象&模型作製(外来) 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようにする。</p> <p>G2: 放射線(5階 会議室 1、1階歯科放射線第2臨床実習室) シュミレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。</p> <p>G3、4、5、6 グループ学習 与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 与えられた課題を解決できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月8日(木) 3、4限	佐藤和朗教授 金野吉晃講師 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 山田裕之助教 菊池宗法助教 桑島幸紀助教 山田順子助教 (歯科矯正学) 佐藤 仁助教 (歯科放射線学) 工藤義之准教授他 (う蝕治療学) 下山 佑講師 (分子微生物学) グループ学習 ファシリテータ 工藤義之准教授 (う蝕治療学) 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 原総一郎助教 畠山 航助教 齋藤由美子助教 (補綴・インプラント学) 菊池宗法助教 (歯科矯正学)	グループ別実習(内丸) G3: 印象&模型作製(外来) 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようになる。 G4: 放射線(5階 会議室1、1階歯科放射線第2臨床実習室) シュミレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。 G1、2、5、6 グループ学習 与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 1. 与えられた課題を解決できる。
9月9日(金) 1限	藤原尚樹准教授 (発生生物・再生医学)	歯の移動と歯周組織のリモデリング 歯の移動時に見られる歯周組織の組織学的構造変化と関連細胞の機能について説明できるようになる。	1. 骨形成・リモデリングについて説明できる。 2. 歯槽骨の組織学的特徴について説明できる。 3. 歯の移動時に見られる歯槽骨と歯根膜の構造変化について説明できる。 4. 歯周組織のリモデリングに関わる細胞の特徴・機能、調節メカニズムについて説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月9日(金) 2限	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	歯科矯正学および歯科矯正治療の意義 歯科矯正学および歯科矯正治療の意義について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科矯正学の定義を説明できる。 2. 歯科矯正学の目的と意義を説明できる。 3. 矯正治療の目的と意義を説明できる。 4. 不正咬合によって生じる障害を列挙できる。 5. 正常咬合の概念を説明できる。 6. 正常咬合が成立し保持される条件を説明できる。 7. 歯列と咬合について説明できる。 8. 不正咬合の客観的な表現法を説明できる。
9月9日(金) 3限	工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学)	医療コミュニケーション1 医療情報収集 (医療面接) 医療面接の目的、意義、手技を説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接の目的と方法を説明する。 2. 医療面接の心得を説明する。 3. 主訴の定義、種類を説明する。 4. 主訴に対する現病歴の医療面接の仕方を説明する。 5. 既往歴(全身、口腔関連領域)について説明する。
9月9日(金) 4限	工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学)	医療コミュニケーション2 医療情報収集(歯科体系、専門用語、主訴、既往歴、現病歴)について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療録の意義を説明する。 2. 診療録に記載する項目について説明する。 3. 歯式の記入法を説明する。 4. 歯式に用いる略語を説明する。 5. 主訴の定義、種類を説明する。 6. 主訴に対する現病歴の医療面接の仕方を説明する。 7. 既往歴(全身、口腔関連領域)について説明する。
9月12日(月) 1限	平雅之准教授 (医療工学)	審美修復材料 審美修復に用いられるレジンおよびセラミック材料について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 充填に用いる審美修復材料の種類と特徴および取扱いを説明できる。 2. インレーに用いる審美修復材料の種類と特徴および製作法の概要を説明できる。 3. 前装冠の前装材料の種類と特徴および金属コア、フレームへの結合方法を説明できる。 4. ジャケット冠、セラミックフレームに用いる審美修復材料の種類と特徴を説明できる。
9月12日(月) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	歯の修復、歯内療法が必要な患者についての導入 歯の修復を必要とする疾患と治療法について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯の修復の原因を説明できる。 2. 歯の修復法を列挙し説明できる。 3. 保存修復学の概要を説明できる。 4. 歯内疾患の原因を説明できる。 5. 歯内療法の流れを説明できる。 6. 歯内療法学の概要を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
<p>9月12日(月)</p> <p>3、4限</p>	<p>工藤義之准教授 (う蝕治療学)</p> <p>下山 佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテータ 工藤義之准教授 (う蝕治療学)</p> <p>滝沢尚希助教 (歯周療法学)</p> <p>原総一郎助教 畠山 航助教 齋藤由美子助教 (補綴・インプラント学)</p> <p>菊池宗法助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ学習</p> <p>与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。</p> <p>クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。</p>	<p>1. 与えられた課題を解決できる。</p>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
<p>9月13日(火)</p> <p>1、2限</p>	<p>佐藤和朗教授 金野吉晃講師 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 山田裕之助教 菊池宗法助教 桑島幸紀助教 山田順子助教 (歯科矯正学)</p> <p>佐藤 仁助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (う蝕治療学) 下山 佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテータ 工藤義之准教授 (う蝕治療学) 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 原総一郎助教 畠山 航助教 齋藤由美子助教 (補綴・インプラント学) 菊池宗法助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習(内丸)</p> <p>G5: 印象&模型作製(外来) 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようにする。</p> <p>G6:放射線(5階 会議室 1、1階歯科放射線第2臨床実習室)</p> <p>シュミレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。</p> <p>G1、2、3、4 グループ学習 与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。</p> <p>1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。</p>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月13日(火) 3、4限	佐藤和朗教授 金野吉晃講師 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 山田裕之助教 菊池宗法助教 桑島幸紀助教 山田順子助教 (歯科矯正学) 佐藤 仁助教 (歯科放射線学) 工藤義之准教授 (う蝕治療学) 下山 佑講師 (分子微生物学) グループ学習 ファシリテータ 工藤義之准教授 (う蝕治療学) 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 原総一郎助教 畠山 航助教 齋藤由美子助教 (補綴・インプラント学) 菊池宗法助教 (歯科矯正学)	グループ別実習(内丸) G2: 印象&模型作製(外来) 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようになる。 G1:放射線(5階 会議室1、1階歯科放射線第2臨床実習室) シミュレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。 G3、4、5、6 グループ学習 与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 1. 与えられた課題を解決できる。
9月14日(水) 1限	工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学)	医療コミュニケーション3 医療情報収集 医療面接 医療面接の意義と実施方法について説明できるようになる。	1. 医療面接の目的と方法を説明する。 2. 医療面接の心得を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月14日(水) 2限	工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学)	医療コミュニケーション4 患者へのアプローチ 患者に対する歯科医の心構えを理解するとともに、診断の基本について説明できるようになる。	1. 患者に接するときの心構えを説明する。 2. 良医(歯科医)の条件を説明する。 3. 患者と疾患との関連を説明する。 4. インフォームドコンセントの定義と重要性を説明する。 5. 診断に必要な診査事項を説明する。 6. 診断の方法を説明する。 7. 医療情報の収集法を説明する。
9月14日(水) 3、4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 下山 佑講師 (分子微生物学) グループ学習 ファシリテータ 工藤義之准教授 (う蝕治療学) 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 原総一郎助教 島山 航助教 齋藤由美子助教 (補綴・インプラント学) 菊池宗法助教 (歯科矯正学)	グループ学習 与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。	1. 与えられた課題を解決できる。
9月15日(木) 1限	成田欣弥講師 (病態生理学)	心臓の構造と機能 心臓の構造と機能、および循環調節について理解する。	1. 血液の循環経路を説明できる。 2. 心臓の構造と働きを説明できる。 3. 心臓の興奮伝導系を説明できる。 4. 心電図波形の成り立ちを説明できる。 5. 心機能および血圧を調節する自律神経 6. ホルモンの働きを説明できる。
9月15日(木) 2限	千葉俊美教授 (関連医学分野)	循環器疾患 歯科疾患治療と循環器疾患の関係について理解する。	歯科疾患治療と以下の代表的循環器疾患との関係について理解し、それぞれの循環器疾患の概念についても理解する。 1. 感染性心内膜炎 2. 高血圧症 3. 虚血性心疾患 4. 不整脈 5. 心不全

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月15日(木) 3限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	全身疾患、全身管理と 歯科診療の関係 歯科診療と全身疾患と のかかわりについてに ついて説明できるよう になる。	1. 歯科診療の侵襲が全身に及ぼす影響につ いて説明する。 2. 全身疾患についての情報収集法を説明す る。 3. 歯科診療時注意すべき全身疾患を列挙す る。 4. 全身疾患を有する患者への対処法を説明 する。
9月15日(木) 4限	野田 守教授 (う蝕治療学)	周術期の歯科治療 周術期患者への歯科医 師、歯科衛生士の関わ りについて説明できる ようになる。	1. 周術期患者の口腔について説明する。 2. 循環器疾患周術期患者に必要な歯科治療 について説明する。 3. 頭頸部耳鼻科周術期患者に必要な歯科治 療について説明する。
9月16日(金) 1限	武田泰典教授 (病体解析学)	炎症総論 歯科臨床における炎症 生疾患の診断と治療の 根拠を病理学的に説明 できるようになる。	1. 炎症の臨床症状と病理学的変化との関連 性を説明できる。 2. 炎症生疾患の治療のための病理学的根拠 を説明できる。
9月16日(金) 2限	大橋祐生助教 (口腔外科学)	顎口腔領域の悪性腫瘍 (概論) 顎口腔領域の悪性腫瘍 の特徴について説明でき ようになる。	1. 顎口腔領域の悪性腫瘍の臨床的特徴を説 明できる。 2. 顎口腔領域の悪性腫瘍の治療法を説明で きる。
9月16日(金) 3限	熊谷章子講師 (口腔外科学)	顎関節疾患の概論 顎関節に生じる疾患に ついて説明できるよう になる。	1. 顎関節疾患の分類を列挙できる。 2. 顎関節疾患の病態を説明できる。 3. 顎関節症の診断基準を説明できる。 4. 顎関節症の症型分類を説明できる。
9月16日(金) 4限	工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学)	医療コミュニケーショ ン5 診療録の記載 診療録の意義、質の高 い診療録の記載方法に ついて説明できるよう になる。	1. POSについて説明する。 2. SOAPについて説明する。 3. 診療録と医療訴訟説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
<p>9月20日(火)</p> <p>1、2限</p>	<p>佐藤和朗教授 金野吉晃講師 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 山田裕之助教 菊池宗法助教 桑島幸紀助教 山田順子助教 (歯科矯正学)</p> <p>佐藤 仁助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (う蝕治療学) 下山 佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテータ 工藤義之准教授 (う蝕治療学) 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 原総一郎助教 畠山 航助教 齋藤由美子助教 (補綴・インプラント学) 菊池宗法助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習(内丸)</p> <p>G4: 印象&模型作製(外来) 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようにする。</p> <p>G3:放射線(5階 会議室 1、1階歯科放射線第2臨床実習室)</p> <p>シミュレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。</p> <p>G1、2、5、6 グループ学習 与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。</p> <p>1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。</p>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
<p>9月20日(火)</p> <p>3、4限</p>	<p>佐藤和朗教授 金野吉晃講師 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 山田裕之助教 菊池宗法助教 桑島幸紀助教 山田順子助教 (歯科矯正学)</p> <p>佐藤 仁助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (う蝕治療学) 下山 佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテータ 工藤義之准教授 (う蝕治療学) 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 原総一郎助教 畠山 航助教 齋藤由美子助教 (補綴・インプラント学) 菊池宗法助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習(内丸)</p> <p>G6: 印象&模型作製(外来) 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようにする。</p> <p>G5: 放射線(5階 会議室 1、1階歯科放射線第2臨床実習室) シュミレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。</p> <p>G1、2、3、4 グループ学習 与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。</p> <p>1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。</p>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月21日(水) 1、2、3、4 限	佐藤 仁助教 (歯科放射線学) 佐藤和朗教授 金野吉晃講師 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 山田裕之助教 菊池宗法助教 桑島幸紀助教 山田順子助教 (歯科矯正学)	実習試験①(内丸) 口内法エックス線撮影 (1階 歯科放射線第2 臨床実習室) シュミレーターや相互 実習で口内法エックス 線撮影ができるように なる。 印象採得(外来) 学生相互で印象を採得 し研究用模型を作製で きるようになる。	以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 印象採得に必要な器具・器材が準備でき る。 2. 適切な印象採得が実施できる。 3. 患者さんを想定し適切な説明を行うこと ができる。
9月26日(月) 1 限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラ ント)	下顎運動概論 下顎位と下顎運動につ いて説明できるよう なる。	1. 咬頭嵌合位と偏心位を説明できる 2. 下顎安静位の定義と臨床的意義を説明で きる。 3. 下顎限界運動と機能運動を説明できる。
9月26日(月) 2 限	成田欣弥講師 (病態生理学)	顎運動に関与する感覚 (顎間関係) 顎運動によって生じる 感覚と顎運動を調節す る感覚について説明で きるようになる。	1. 咬合および咀嚼に関与する感覚の受容器 と伝導路を説明できる。 2. これらの感覚が咀嚼運動に及ぼす影響に ついて説明できる。 3. 下顎安静位の維持に働く感覚と反射につ いて説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月26日(月) 3、4限	工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 千田弥栄子助教 (う蝕治療学) 野宮孝之助教 (口腔外科学) 三浦慎吾助教 (歯科補綴学) 佐藤 仁助教 (歯科放射線学) 南健太郎助教 (予防歯科学) 藤井雅助教 (小児歯科) 佐藤健一教授 (歯科麻酔) 飯塚康之助教 (歯科矯正学) 滝沢尚希助教 (歯周病学) 輪番で担当	実習(矢巾:実習室) 医療コミュニケーション実習① ロールプレー実習で医療面接を実施できるようになる。	1. 指定された時間内に、初診時医療面接を行うことができる。
9月27日(火) 1、2、3、4限	佐藤 仁助教 (歯科放射線学) 佐藤和朗教授 金野吉晃講師 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 山田裕之助教 菊池宗法助教 桑島幸紀助教 山田順子助教 (歯科矯正学)	実習試験②(内丸) 口内法エックス線撮影(1階 歯科放射線第2臨床実習室) シミュレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。 印象採得(外来) 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようになる。	以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 印象採得に必要な器具・器材が準備できる。 2. 適切な印象採得が実施できる。 3. 患者さんを想定し適切な説明を行うことができる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月28日(水) 1、2限	<p>工藤義之准教授 (う蝕治療学) 下山 佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテータ 工藤義之准教授 (う蝕治療学) 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 原総一郎助教 畠山 航助教 齋藤由美子助教 (補綴・インプラント学) 菊池宗法助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ学習発表会 (矢巾) グループごとに発表 まとめ</p> <p>1班20分×6 質疑5分×6 与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。</p>	<p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 調べたことを聞き手に解りやすく説明できる。</p>
9月28日(水) 3、4限	<p>工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 千田弥栄子助教 (う蝕治療学) 野宮孝之助教 (口腔外科学) 三浦慎吾助教 (歯科補綴学) 佐藤 仁助教 (歯科放射線学) 南健太郎助教 (予防歯科学) 藤井雅助教 (小児歯科) 佐藤健一教授 (歯科麻酔)</p> <p>飯塚康之助教 (歯科矯正学) 滝沢尚希助教 (歯周病学)</p> <p>輪番で担当</p>	<p>医療コミュニケーション 実習②(矢巾)</p> <p>ロールプレー実習で医療面接を実施できるようになる。 (実習室)</p>	<p>1. 指定された時間内に、初診時医療面接を行うことができる。</p>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月29日(木) 1、2限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	グループ実習発表会 印象&模型作製(矢巾) グループごとに作製した模型をもとに発表 まとめ 1班20分×6 質疑 まとめ講義 印象採得法と模型作製法実習を通じて習得したことをわかりやすく発表Sできるようになる。	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 採得した印象を評価することができる。 3. 作製した研究用模型を評価することができる。
9月29日(木) 3、4限	工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 千田弥栄子助教 (う蝕治療学) 野宮孝之助教 (口腔外科学) 三浦慎吾助教 (歯科補綴学) 佐藤 仁助教 (歯科放射線学) 南健太郎助教 (予防歯科学) 藤井雅助教 (小児歯科) 佐藤健一教授 (歯科麻酔) 飯塚康之助教 (歯科矯正学) 滝沢尚希助教 (歯周病学) 輪番で担当	医療コミュニケーション 実習試験(矢巾) ロールプレー実習で医療面接を実施できるようになる。 (実習室)	1. 指定された時間内に、初診時医療面接を行うことができる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月30日(金) 1、2限	佐藤 仁助教 (歯科放射線学)	グループ実習発表会 放射線撮影(内丸) グループごとにエックス線を読影し発表 1班20分×6 質疑 まとめ講義 シュミレーターや相互実習での口内法エックス線撮影実習を通じて習得したことをわかりやすく発表できるようになる。	1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。
9月30日(金) 3、4限	佐藤 仁助教 (歯科放射線学) 佐藤和朗教授 金野吉晃講師 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 山田裕之助教 菊池宗法助教 桑島幸紀助教 山田順子助教 (歯科矯正学) 千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	補足実習 ※ <u>該当者のみ</u> ※ <u>それ以外は内丸で出席確認、自主学習</u> 口内法エックス線撮影(1階 歯科放射線第2臨床実習室) シュミレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。 印象採得(外来) 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようになる。 医療コミュニケーション実習 ロールプレー実習で医療面接を実施できるようになる。	以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 印象採得に必要な器具・器材が準備できる。 2. 適切な印象採得が実施できる。 3. 患者さんを想定し適切な説明を行うことができる。

コース最終試験

月 日	担 当		
10月3日(月) 1、2限	工藤義之准教授 千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	最終試験1	講義、実習内容、グループ学習ならびに関連項目
10月3日(月) 3、4限 *	工藤義之准教授 千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	最終試験2	講義、実習内容、グループ学習ならびに関連項目

(* : コースアンケート実施)

教科書・参考書 (教 : 教科書 参 : 参考書 推 : 推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	保存修復学 21 4版	赤峰昭文ほか	永末書店	2011年
教	保存修復学 6版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2013年
教	保存修復クリニカルガイド 2版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2009年
教	歯内治療学 4版	中村洋ほか編著	医歯薬出版	2012年
教	臨床歯周病学 2版	吉江 弘正ほか 編	医歯薬出版	2013年
教	ザ・ペリオドントロジー 2版	和泉雄一ほか 編	永末書店	2014年
参	失敗しない歯周外科：キュレット ターゲットから再生療法まで	小方 頼昌・國松 和司 著	クインテッセンス出版	2007年
推	歯周病学用語集 第2版	日本歯周病学会 編	医歯薬出版	2013年
推	コーエン審美再建歯周外科カ ラータラス 原著第3版	E.S.コーエン 編 鴨井久一 監訳	西村書店	2009年
推	臨床歯科理工学	宮崎隆ほか編	医歯薬出版	2006年
推	院内感染防止マニュアル IV	岩手医科大学附属病院歯科医 療センター院内感染予防対策 委員会	岩手医科大学附属 病院歯科医療セン ター院内感染予防 対策委員会	2009年
教	歯科矯正学 第5版	相馬邦道ほか 編	医歯薬出版	2008年
参	チェアサイド・ラボサイドの新 矯正装置ビジュアルガイド	後藤滋己ほか 編	医歯薬出版	2015年
参	矯正装置の製作ガイド ー基礎知識と技工ー	Brian D. Willison ほか著、 北總征男ほか監訳	東京臨床出版	2005年
参	メディカル・インタビューマニ ュアル第3版：医師の本領を生 かすコミュニケーション技法 第3版	福井次矢 監修	インターメディカ	2002年
参	POSによる歯科診療録の書き方	日野原 重明 監修	医歯薬出版	2005年
参	臨床口腔診断学	内山 洋一ほか編	国際医書出版	1994年
参	総合口腔診断学	増田 屯 編	砂書房	1996年
参	でんたるこみゆにけーしょ ん：歯科医療面接総論	山田 隆文	学建書院	2002年

	書名	著者氏名	発行所	発行年
参	内科学 10版	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2013年
参	現代小児歯科学 改訂5版	黒須 一夫 編著	医歯薬出版	1994年
参	小児の口腔軟組織疾患：診断アトラス	甘利 英一、武田 泰典 著	医学情報社	1995年
参	小児歯科学 第4版	高木裕三ほか 著	医歯薬出版	2011年
教	歯科臨床における画像診断アトラス	日本歯科放射線学会 編	医歯薬出版	2008年
推	口腔解剖学	脇田稔ほか 編	医歯薬出版	2009年
推	図説口腔解剖学1～5巻3版	上條雍彦 編	アナトーム社	2006年
推	内科学 10版	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2013年

成績評価方法

<p>講義、実習のいずれとも合格したものを合格とする。 講義：すべての講義群①～③の試験成績 65 点以上を合格とする。欠席に応じて減点する。 実習：実習評点 65 点以上を合格とする。 印象、模型作製実習：実習過程と実習試験で評価する。 放射線実習：実習過程と実習試験で評価する。 医療面接実習：知識（実習内容の理解）、技術（コミュニケーションスキル、情報収集）、態度（身だしなみ、歯科医師としての礼節のある行動、積極性）で評価する。</p> <p>講義；試験の成績で 65 点以上を合格とする。 「DESS 演習結果は講義成績に含む。」</p> <p>実習；すべての実習に出席し、すべての提出物を提出し、検印を受け、実習評価が 65 点以上を合格とする。 実習に対する知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる）を評価の対象とする。</p> <p>なお、講義、実習ともに欠席、遅刻に応じて減点する。</p> <p>講義と実習の両者が合格した場合を合格とする。</p>

授業に使用する機械・器具と使用目的

[IDP]

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的	
ノートパソコン 一式	SVP1121A2J	1	視聴覚用機器	実習(講義)の資料提示用
コピー機 imageRUNNER ADVANCE	C5235F	1	基礎実習・研究用機器	講義配布資料作成
ノートパソコン	CF-LX3HEQBP	1	視聴覚用機器	実習(講義)の資料提示用
ノートパソコン	INSPRION	1	視聴覚用機器	実習(講義)の資料提示用